

協働シンポジウム開催!

磐田市では、協働のまちづくりを推進しています

“戦略的協働を考える”

日時 12月9日(日) 13:00~16:30

会場 iプラザ(磐田市総合健康福祉会館)

2階 ふれあい交流室 <どなたでも参加できます>

基調講演

東海大学教授
磐田市協働のまちづくり推進委員会委員長
河井孝仁 氏

パネルディスカッション

★コーディネーター 河井孝仁 氏

★パネリスト

●若者いわたネットワーク(WIN)
代表 草地博昭 氏
…いわたゆきまつり実行委員会の活動等…

●(社団法人)磐田青年会議所
理事長 丸尾 敬 氏
…キラリ☆サマーキャンプの活動等…

●みんなでうさぎ山を楽しむ会
副会長 兼子孝宏 氏
…うさぎ山公園を拠点とした地域や人、団体とのつながりを目指した総合的な活動…

ネットワーキング交流会

～市民活動パネル展・活動紹介コーナー～
各団体の活動紹介コーナーです。
団体紹介パンフレット・イベント等のチラシ・名刺など、当日お持ちください。



磐田が大好きな市民がたくさんいます。自分たちができることで活動しています。市民のみなさんの熱い想いをいただいて、明日のエネルギーにしていきませんか? さらに元気のある磐田にしていきましょう!
※詳細は後日、チラシなどでご案内します。

速報

男女共同参画表現コンテスト 最優秀作品決定!



絵画部門 はたの 幡野 ゆりさん(主婦)

「男女の在り方」



ともりあでは今年度も「男女共同参画表現コンテスト」を実施しました。市民の皆さんから、男女共同参画社会づくりの大切さを表現した作品が多数寄せられました。

審査員からのコメント

男女が性別に関係なく、互いに助け合い、協力していくことが伝わってくる作品だと感じました。



標語部門 市川 るい 壘さん(高校生)

男女の壁 無くし 生まれる おもいやり

審査員からのコメント

男女共同参画社会を築くには、「おもいやり」が根底に必要なので推しました。
各部門からの入賞者を、12月16日(日)開催の「男女共同参画講演会」オープニングで表彰します。また次号の Duo 紙面では全入賞作品を紹介します。お楽しみに♪

「ともりあ女性塾」

～ 私のしあわせ計画スタート♪ ～ 開催しました

6月15日・22日・29日・7月6日(金)の連続4回講座「ともりあ女性塾」を開催しました。

第1回は静岡県立大学教授の犬塚協太氏を講師に迎え「しあわせ計画」を実現させるために必要な、男女共同参画の基礎を学びました。講師からは、「まず身近な意識と行動から」「ジェンダーに気づき、できることから変えていく」などキーワードがあげられ、これからの暮らしに役立つ意義深い講義となりました。



ビジョンマップとは

自分だけの夢や目標を、写真・雑誌の切抜きを貼ってビジュアル化し、実現・達成をグンと加速させる夢のツールです。



大迫由美子 講師

第2～4回はエンパワーメント・ラボW-i-t-h(ウィズ)代表大迫由美子さん(ウイズ)を講師に迎え、夢をかたちにするための「ビジョンマップ」作成に向け講座が進められました。

講師からは、マップ作成のポイントとして、「自分を満たしている想いを知る」「社会との関わり方の視点を加える」「具体的な目標数字を入れる」などアドバイスがありました。受講生は、理想の自分をかたちにするために3年後をイメージしてマップを作成しました。最終日には、皆さんの前で発表し合い、夢の実現に向けて決意を新たにしました。

ジェンダーとは…

生まれながらの性別ではなく、社会的・文化的に作られた性別のことです。ジェンダーを知ることによって、従来の慣習やしきたりに縛られず、「自分らしさ」を大切に生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」につながります。

受講生の声

夢がかなうビジョンマップ

鈴木 紀代美さん



私は現在、子どもから高齢者の方にまで幅広く、水泳・エクササイズ・健康体操等のインストラクターをしています。

「女性塾」を受講して「男女共同参画」のことを基礎から学べ、そして、何よりも今の私にとって、宝物の一つとなった「ビジョンマップ」を手に入れることが出来ました。完成しビジョン化されたマップを見ることによって、実現への道がグッと近くに感じられるようになりました。そして、この短時間にも関わらず、資格取得など本当に実現したものがいくつかあるのには、自分でも驚いています。

犬塚先生、大迫先生、「ともりあ」のみなさん、そして、時を共にして自分たちの夢を語り合った受講生のみなさん…本当にありがとうございました。

自分を見つめ直すことができた ビジョンマップ

山下 葉子さん

今回のビジョンマップ作成で、自分の夢ややりたい自分を整理することができました。3年後の自分や家族を想像しながら写真やイラストを切り貼りする作業は楽しいもので、その時間だけは「妻」「母」という普段の役割から解放されました。

最後に受講生同士で発表したこともお互いに良い刺激になったと思います。

2歳の娘は託児室で楽しく遊んで私の帰りを待っていてくれたようです。

親子共に有意義な時間を過ごすことができました。



「ともりあ広場」開催中

「ともりあ」では男女共同参画センターとして、東日本大震災の被災地に想いを寄せ、市民・団体・サポーターの皆さんと共に、できることから活動を始めています。

8～10月の活動報告

◎8月11日(土) ハンドメイドで被災地支援

被災地のみなさんに、手作りのきれいなもの・かわいいものをお届けして気持ちに潤いをもってもらえれば…と「ふんばろう東日本支援プロジェクト」の中の「ハンドメイドプロジェクト」に参加するため、「アクリルたわし」・「ぼち袋」を作りました。

利用登録団体「Yururi」によるハンドマッサー体験も行い、収益金は支援活動に役立てます。

この活動の様子は「NHK」「静岡第一テレビ」の県内ニュースで放映されました。



♪アクリルたわし♪



洗剤がなくても汚れが落とせるので、上下水道がまだ整っていない被災地では特に喜ばれます。

活動の継続が決定し…

8月25日、9月8日・29日、10月6日(土)連続開催しました。

プロジェクトの10月締め切りに向けて、延べ70人近い市民が参加し、たくさんの作品が完成しました。磐田の地から被災地へ“ぬくもり”を届けました。

◎9月14日(金) ほけん師が見た！被災地

東日本大震災の被災地に赴いた二人の女性保健師から、被災地での支援活動の様子や震災後の女性の特徴的な悩みなどを聴きました。

もしもの時に備え、日頃から、地域コミュニティー(絆)をつくる事が大切であること。そして、災害時には、生活の質を低下させず、1日でも早く日常の時間を取り戻す事が復興につながる。そのためには、男女の性別役割分担ではなく、適材適所でみんなが活動する方がよいなど、被災して非日常になった時の注意点を学びました。

◎10月13日(土) アクリルたわしで被災地支援

アクリルたわしを編みました。作ったアクリルたわしは、今後の「みんなで軽トラ市 いわた☆駅前楽市」で販売し、収益金を被災地支援に充てます。

お知らせ 「アクリルたわしで被災地支援」を今年度中、継続して行います

日時 毎月第2土曜日午前10時から12時

場所 “ともりあ”交流スペースにて

参加費 300円

ぜひ、お気軽にご参加ください!

「ともりあ利用登録団体」の紹介 交流・活動支援～出会う、ふれあう～

男女共同参画の推進に賛同する団体・市民の皆さんに利用登録いただき、相互の連携、交流をすすめ、ネットワーク作りを支援しています。現在、21団体が登録しています。その中から、今回は「ウイミンズネットいわた」からの活動紹介です。

<ウイミンズネットいわた> 代表 鷹野 ゆき子さん

2003年、男女共同参画社会の実現のため、会員の学習の継続と学習成果の地域への還元を目指して結成されました。サロン、井戸端会議、講座、講演会などを企画・開催し、ニュースレターを発行するなど、より多くの人に“男女共同参画”を理解し問題に気づいてもらえるように草の根の活動をしています。

昨年度と今年度、磐田市協働のまちづくり提案事業で「中学生に伝える男女共同参画」をテーマに市内中学校で男女共同参画授業を行いました。人生の早い段階で男女共同参画の考え方を伝えることの重要性を感じています。



利用登録団体
募集中!

“ともりあ”と一緒に、明るい活動を広げて行きましょう。お気軽にお問い合わせください。

利用登録団体になると

- ★活動PRの場を提供
- ★団体活動の支援
- ★他団体等との交流機会を提供
- ★講座などの情報を提供
- ★打ち合わせスペースの利用 などができます。

みんなの活動応援講座 開催報告

Part.2 簡単!デジカメ活用術(初級編)

日時 8月4日(土) 10:00~12:00
会場 市民活動センター 交流スペース
講師 旬チップス PCインストラクター 榛村 稚枝氏

デジカメに入れたままの写真をパソコンに取り込み、チラシ作りに活用する初級者向けの講座でした。



見出しの文字をワードアートで作成、配置、配色を考え、取り込んだ写真のサイズを変更したり回転したりして、デザインを工夫しました。簡単な基本操作で、写真入りのきれいで見やすいチラシができました。「イベントの紹介や会報に写真を取り入れることで、活動内容がさらにアピールできます」という講師の話でした。

アンケートでは「図形作成の基本的なことが良く分かった」「次回は中級編へと続けて欲しい」という感想がありました。

最後に「継続して練習することが大切ですね」と話し合いました。

Part.3 facebook活用術(入門編)

日時 9月29日(土) 10:00~12:00
会場 磐田市役所豊田支所 301会議室
講師 旬チップス 山浦こすえ氏

この講座は「フェイスブックってそもそも何だろう」という基礎的な部分から、実際に活動へどう活かしていくかを教えていただきました。



フェイスブックとは世界最大のSNSで一番の特徴は実名登録制(個人情報の登録が必要)です。また、facebookページをもつことで活動をPRすることも出来ます。

facebookを活動に活かす手順は、次のとおりです。

- ①facebookページを作る
- ②ユーザーをページに繋げる
- ③ファンと交流し、関心を引く
- ④ファンの友達をファンにする

最後に講師から「facebookページを作っただけでは意味がありません。コツコツと有益な情報を流し人としての心こもった交流をすることが大切です。反応しやすい投稿や返信したり、シェアしたりして永続的な意味のあるつながりを作って下さい」と話がありました。

参加者からは「とてもわかりやすく参考になりました」と感想がありました。

お知らせ

お問い合わせ・お申し込みは、
 磐田市市民活動センターへ

TEL/FAX 0538-36-1890
 E-mail : iwata-npo@za.tnc.ne.jp

1 みんなの活動応援講座 Part.4 「ブログ開設講座(基礎編)」

無料で作成できるブログを団体の広報力アップや仲間作りに役立ててみませんか?

まずは、開設にチャレンジ!

ブログを始める第一歩の講座です。

- ◆日時: 11月17日(土) 10:00~12:00
- ◆会場: 市民活動センター交流スペース
- ◆講師: いわたネット協同組合
 和田 喜充氏・加藤 育朗氏
- ◆参加費: ¥500
- ◆対象者: パソコン操作、文字入力のできる方
- ◆定員: 15名
- ◆持ち物: パソコン、筆記用具



2 まちづくりサポーター養成講座

- ◆日時: 11月10日(土) 13:30~
- ◆会場: 市民活動センター交流スペース
- ◆対象者: まちづくりサポーターに興味のある方
 “まちづくりのお手伝いをする”会員募集中
 “サポーターに手伝ってほしい”依頼主募集
 (個人からの依頼は原則として対象になりません)

3 市民活動団体実態調査

センターでは、市内で市民活動をしている団体へ「市民活動団体実態調査」を実施しています。私どもが把握していない団体が多くあると思いますので、調査にご協力いただける団体は、センターまでご連絡ください。

4 西部地域交流プラザとの協働推進セミナー 「行政と市民との協働の必要性とその向上」

- ◆日時: 平成25年1月12日(土) 9:30~11:30
- ◆会場: ^{あい}プラザ(磐田市総合健康福祉会館) 2階
- ◆講師: 静岡大学人文学部社会学科教授
 日詰 一幸氏

利用登録団体の活動紹介

磐田グラウンドゴルフ(GG)倶楽部



スタートの笛を吹く
海老江会長(91歳)



9月20日(木)、今之浦市有地で第15回磐田商工会議所会頭杯GG大会が開催されました。

参加者は、残暑厳しい中にもかかわらず元気いっぱい。参加者の三浦幸枝(70歳)さんは「自分の健康のためと友達が増えることが嬉しい。たまにはホールインワンもできるから楽しいよ。一度やったらやめられない」と話してくれました。(取材)

設立 平成4年 **会員** 88名

活動目的 楽しく、仲良く健康で生涯スポーツ競技としてグラウンドゴルフを行う事を目的とする。

代表 海老江 吉次

[連絡先] 磐田市新通町2900-1
TEL・FAX 0538-32-3693

NPO法人 磐田ふれあい基金協会



大橋理事長

◆ボランティア育成事業

毎年、地域福祉団体に助成金を授与しています。今年度は「喜楽会」と「いわた子育てネットわわわ」の2団体でした。

◆チャリティーコンサート

変面ショーと二胡演奏を福王寺で開催しました。変面は瞬時に次々と面(マスク)が変わる中国芸能です。コンサートは大盛況でした。



※7事業のうち2事業を紹介

会員 46名 **賛助会員** 34名(会社・個人)

活動内容 ボランティアの育成事業、高齢者・障害者に対する理美容サービス、社会教育事業、桃・柿育英会(東日本大震災遺児育成資金)、献血活動、シニア生き生き育成事業、活動資金を確保するための事業(チャリティーコンサートなど)

代表 大橋 忍

[事務局] 磐田市西貝塚557-5
TEL0538-36-0833 FAX0538-36-1086

もちつもたれつ

* やってよかったまちづくり *

磐田市市民活動推進課

Vol.2 協働の窓口



地域の困りごとを解決する時に「自分たちだけではできないこと」があったら、協働の窓口にご相談してみましょう。

相談前

高い草が生えていると見通しが悪くなり、交通事故や不法投棄の原因に…。でも、整備に必要な道具が足りません。



荒れた空き地があった場合

協働の窓口へ相談(市民活動センター・市民活動推進課)

「やりたいこと」
空き地の整備。
「できること」
自治会に手伝ってくれる人がたくさんいる。
「足りないこと」
整備に必要な道具が無い。

市の制度を使うことで整備に必要な道具の貸し出しや、刈り取った草の処分などのサポートができます。



相談後

協働により空き地が整備され、「地域の憩いの場」ができました。

